

YRS
ユアーズ



横浜ラポール聴覚障害者情報提供施設だより

横浜ウェブ

第195号

トピックス

J-TALK (遠隔手話通訳) のご利用状況について

情提では、令和3年1月より「J-TALK」(株)アステムの遠隔手話通訳アプリ)による対応を開始し、1年が経ちました。これまでの状況をご報告します。

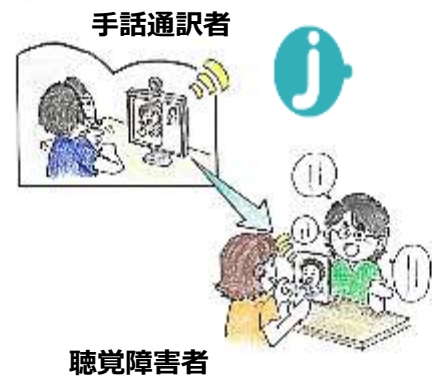
J-TALKをご利用いただくには、事前に利用者登録が必要です。現在、69人の聞こえない方に登録いただき、これまでに延べ55件の遠隔手話通訳派遣を実施しました。(2/28現在)

コロナウイルスの感染防止対策だけでなく、通常の通訳派遣(定期通院の診察や業者の来宅、リハビリなど)においてもJ-TALKを利用していただいています。また、感染防止の観点から、聞こえない方が入院している病院への通訳者の現地派遣が難しい場合には、病院にJ-TALKでの手話通訳をお勧めしています。

これまで、通信環境が悪く、画像が鮮明に見えないなどの理由で、うまく通訳ができない状況もありました。そのため通訳開始時間を少し早め、事前に音声・通信状況の確認を行うなどの対策を取っています。

今後もさらに多くの方にご利用いただけるように、横浜市内の聞こえない方々へJ-TALKの案内を進めてまいります。利用に際しては、登録と事前の通訳依頼が必要です。登録等のお問い合わせは、聴覚障害情報提供施設までお願いします。

なお、発熱などコロナウイルスへの感染の疑いがある方、PCR検査を受けたい方などコロナ関連の通訳依頼には、神奈川県が行う遠隔手話通訳サービスで対応しています。県内の医療機関等に遠隔手話通訳専用のQRコードが配付されています。直接医療機関へ行き、ご自身のスマートフォンやタブレットを使って、遠隔通訳の利用ができるサービスです。こちらに関してのお問い合わせは、神奈川県聴覚障害者福祉センター(FAX0466-27-1225 電話 0466-27-1911)までお願いします。



派遣事業

運営委員会を開催しました

1月26日(水)に手話通訳者派遣事業運営委員会、2月9日(水)要約筆記者派遣委員会を開催しました。神奈川県にまん延防止等重点措置が適用されており、会場参集とZoom参加のハイブリット型で行いました。

手話通訳者派遣事業運営委員会では、今年度11月までの派遣実績、情提でのコロナ対策や遠隔手話通訳の状況について報告しました。その後は、各団体から出された議題について意見交換をしました。また、要約筆記者派遣委員会でも、派遣事業報告、横浜市からの報告、意見交換を行いました。意見交換では、コロナ禍での通訳派遣に対しての考え方や情報共有を行い、委員の皆様から貴重なご意見・ご要望をいただきました。今後とも派遣事業を円滑・効果的に行なうための協議の場となるよう取り組んでまいります。



手話通訳者・要約筆記者 合同研修

健康講座を開催しました

1月29日(土)、2月2日(水)、5日(土)の3日間、ラポール上大岡にて標記テーマで研修を行いました。3日間で手話通訳者・要約筆記者18人が出席しました。

ラポール上大岡のスポーツ指導員が講師を担当し、一人ずつ姿勢測定をしたのち、ミニ講義とストレッチ、トレーニングを行いました。どれも自宅や職場で手軽に行えて、凝った体に効くものばかりでした。最後に、姿勢測定の結果が返却され、「結果を見て落ち込むのではなく、自分の今の状態を知ることが大切」とのお話がありました。毎日全てのメニューをこなそうとしても続きません。健康な体を維持するためにも少しずつ継続していきましょう。



手話通訳者専門研修を開催しました

1月17日(月)、国立障害者リハビリテーションセンター学院手話通訳学科教官の江原こう平氏を講師にお迎えし、専門研修を開催しました。テーマは「通訳現場での対応力向上」とし、映像(市長会見等)通訳と対人援助技術(現場対応力)という2つの切り口でケーススタディをおこないました。

コロナ禍の影響で映像通訳のニーズが高まり、そのニーズに応じる形で通訳派遣がおこなわれています。現場でどう対応したらいいか、現場での悩みをグループで出しあい、全体で共有しました。

後半は、視点ががらりと変わって、社会福祉の原点でもある対人援助技術についてお話いただき、援助について考察を深めることができました。日々の通訳現場と照らし合わせながら研修を進めることができ、実りのある研修となりました。

パソコン・手書き要約筆記者現任研修を開催しました

2月23日(水・祝)に標記研修をオンラインで開催しました。午前のパソコンの研修は29人、午後の手書き研修は29人の要約筆記者が参加しました。



パソコンは、講演会の音源を使った一人入力の実技練習と、事例検討を行いました。手書きは、会議場面の模擬通訳と、グループに分かれての振り返りを行いました。Zoom上ではありますが、現場をイメージした実技と振り返りができました。

今回が今年度最後の現任研修となりました。感染拡大が収束しない中、最終回も対面での研修はかないませんでした。講師の皆様の工夫と参加者の皆様の協力により、集合型とオンラインどちらでも研修ができるようになったのは、コロナ禍での大きな収穫です。

普及・啓発事業

浜の会茶話会に参加しました

1月17日(月)にフクシアで開かれました。スタッフも含めて16人が集まり、リーダーの方を中心に、最近の話題について(コロナ感染者が増えている、津波警報の深夜の誤報、東大入試事件など)感じたことや思ったことをたくさんお話ししました。

情提から「ワクチン情報」を配布したところ、3回目の接種に向けての効果や海外の状況などで話が盛り上がりました。質問タイムには、年末年始の通訳申し込み方法について質問がありました。そして、今年はどんな活動をしたいかの話題では、横浜エアキャビン(ロープウェイ)や、バイサイドブルー(連結バス)に乗ったり、「今年こそ、みんなでお出かけしたい」と楽しい計画を期待する声が多かったです。

これからも、継続して参加していきます。よろしくお願いいたします。

情提事業

電話リレーサービス学習会に協力しました

2月13日(日)、(一財)日本財団電話リレーサービス主催、神奈川県聴覚障害者連盟・県内聴覚障害者情報提供施設協力にて、電話リレーサービス学習会が横浜ラポールで開かれました。当日は(一財)日本財団電話リレーサービスの上嶋講師からサービスの使い方や利便性、利用時のマナー等を、動画を用いながらご紹介いただき、希望者には利用登録のお手伝いも行いました。感染拡大の影響で参加人数を絞り、午前だけの開催とはなりましたが、参加者からも積極的に質問があり、関心の高さを実感しました。

メールやインターネット等の普及で、昔と比べると電話以外の連絡手段は増えたものの、119等の緊急電話をはじめとして、通院の予約変更や宅配便の再配達連絡、業者への問い合わせなど、電話が必要なシーンはまだまだ社会の中に多くあります。聴覚障害者も電話が利用できるようになるこのサービスは、今後の生活を大きく変えるものとなることでしょう。始まったばかりのサービスで、社会の理解などさまざまな課題もありますか、聴覚障害者の生活がより良いものとなるよう、当施設としても引き続き支援していきたいと思っております。

ろう特別支援学校の生徒さんへ事業説明を行いました

2月14日(月)、卒業を間近に控えた、横浜市立ろう特別支援学校高等部3年生の生徒8人(引率の教員2人)が当施設に見学に来てくれました。

聴覚障害者相談や通訳派遣制度等の当施設の事業を紹介した後、通訳利用場面を想定したロールプレイを取り入れながら「待ち合わせの時はどうするの?」「手話通訳者の座る位置は?」など、通訳利用時のポイントなどを確認しながら模擬を行いました。また、コロナ禍で導入した遠隔手話通訳も疑似体験してもらいました。

体験の後は施設見学を案内しました。映像制作室や区役所の遠隔通訳ブースなどを見て回りました。また、同じフロアにある横浜市聴覚障害者協会にも案内し、副理事長の内田さんから、人生の先輩として、社会に羽ばたく生徒の皆さんに温かいエールを頂きました。

最初は緊張していた生徒の皆さんも後半には少しずつ笑顔が見られるようになりました。

これからの新しい生活の中で、必要な時には、是非この日のことを思い出して、相談や通訳派遣を利用していただければ嬉しく思います。ご卒業おめでとうございます。





実習生がやってきました!



2022年1月5日から13日までのうち5日間、国立障害者リハビリテーションセンター学院手話通訳学科の高橋光(たかはしあきら)さんが実習生として当施設に来られ、情報業務を中心に学びました。

高橋さんより

短い期間でしたが、職員の方から多くのことを学ばせていただきました。学校の授業ではコーディネートについて深く学ぶ機会がなかったので、何に注意しているのか、どういう理由で派遣者を決めるのかを伺い、非常に参考になりました。また、情報提供施設としてろう協や登録通訳者と連携することの重要性を改めて知ることができました。とても充実した通訳実習となりました。本当にありがとうございました。



(1月末までの累計)

■通訳者の派遣・紹介人数

■聴覚障害者の相談

内容	手話通訳	要約筆記	合計	昨年同月	相談事業	実件数	対応数
医療・保健	5,014	67	5,081	4,426	医療	201	382
司法	19	25	44	26	職業	30	60
教育・保育	408	5	413	322	教育	0	0
労働・雇用	445	42	487	258	住宅	18	40
社会生活	1,324	26	1,350	1,403	生活	191	326
自己啓発	97	8	105	68	福祉	137	333
福祉推進	711	786	1,497	814	法律	30	64
介護保険	560	2	562	(相談員) 0	聞こえ	5	6
他都市	44	5	49	40	合計	612	1,211
合計	8,622	966	9,588	7,357	昨年同月	517	993
昨年同月	6,932	425	7,357				

■通訳者の現任研修

■映像・字幕制作

手話	回数	36	参加人数	945	自主制作作品数	63
要約筆記	回数	27	参加人数	565		



1月

- 4 仕事始め
- 8 要約筆記研修
- 5~13 国リハ実習生受入れ
- 11 全要研 VPN 試行
- 14 手話養成運営委員会(横聴協)
- 16 事業見直し会議
- 18 手話ブラッシュアップ研修
- 17 浜の会茶話会参加(西区)
- 24 衛生委員会
- 26 手話派遣事業運営委員会(ハイブリッド型)
- 26 出前講座(葛が谷地域ケアプラザ)
- 29 通訳者健康講座(上大岡)
- 30 横聴協つどい

2月

- 1 第三ブロック映像担当者研修会(オンライン)
- 2 通訳者健康講座(上大岡)
- 2 主管課定例会(上大岡)
- 3 要筆養成修了式(浜難聴)
- 4 県下派遣窓口会議(オンライン)
- 5 通訳者健康講座(上大岡)
- 6 千葉県通訳者研修講師対応(オンライン)
- 7 手話1、2年次研修
- 9 要筆派遣事業運営委員会(ハイブリッド型)
- 10 要筆登録試験委員会(浜難聴)
- 13 電話リレーサービス学習会
- 14 市立ろう特別支援学校高等部見学対応
- 14 手話養成選考試験打合せ(横聴協)
- 16 入退館・派遣システム見直しミーティング
- 17 第三ブロック研修会(オンライン)
- 18 手話養成運営委員会(横聴協)
- 19 要筆登録試験前日準備
- 20 要筆登録試験
- 21 こども青少年局との協議
- 23 要筆現任研修(オンライン)
- 23 八王子市通訳者研修講師対応
- 27 石川県情報通訳者研修講師対応(ワライン)
- 27 手話講師研修
- 28 横浜市社協出張(視聴覚機器関係)
- 28 衛生委員会

横浜ラポール聴覚障害者情報提供施設だより《横浜ウェブ》

発行日:令和4年2月28日

発行者:(社福)横浜市リハビリテーション事業団 横浜ラポール聴覚障害者情報提供施設

〒222-0035 横浜市港北区鳥山町1752 TEL.045-475-2057 FAX.045-475-2059

ホームページ <http://www.yokohama-rf.jp/rapport/jyoutei/>

